

## お知らせコーナー

### 一面会時間

平日…午後 3:00~午後 8:00  
日・祝日…午前 10:00~午後 8:00

☆予約について／お電話での予約の変更・問い合わせについて、月曜～金曜日の午後2時～4時45分の間に受けしております。

### 医療相談室のご案内

病気やけがによって起こる様々な問題や心配事について、医療ソーシャルワーカーが、一緒に考え問題解決に向けてのお手伝いをいたします。

### たとえばこんなときをご相談ください

- 医療費や生活費の心配
- 介護保険などの福祉制度について知りたい
- 退院後の家庭での療養や介護が不安
- 転院、施設入所を考えている
- その他、誰に相談してよいかわからないことなど…

### 相談方法・受付時間

月曜日～金曜日 9:00～16:30 (土曜日・時間外も予約対応可)  
場所 1階 医療相談室 (又は、病院スタッフにお申出ください)  
☎ 0545-52-0823 (直) 又は 52-0780 (代) 担当 大河

### 脳ドック健診 受付中

実施期間 平成26年2月28日までの火・金曜日  
受付期間 平成25年12月27日まで  
料金 ①富士市国民健康保険加入者 16,800円  
※富士市の人間ドック・特定健診を受けられた方は御利用できません  
②それ以外の方 50,000円

### お問合せ・お申込み

電話: 0545-52-0780 (代表)  
受付時間: 月曜日～金曜日・9時～16時30分  
(土日祝祭日除く)

### 求人情報

- 【急募】医師 ■【急募】看護師 ■【急募】薬剤師
- 【急募】放射線技師 ■【急募】臨床工学技士

お問合せは当院管理事務課の玉置まで、メールまたは電話で御願い致します。  
E-mail seireifuji@sis.seirei.or.jp  
TEL 0545-52-0780 (代)



### 法人理念 「隣人愛」

#### 病院理念

私たちは、

人ととのつながりを大切にし、  
地域に貢献できる医療を目指します

### ◆交通アクセス

- ★東名富士ICより車で約10分
- ★新幹線新富士駅よりタクシーで約10分
- ★吉原中央(バス)駅より徒歩5分
- ★岳南鉄道吉原本町駅より徒歩3分



### 駐車場のご案内

当院では、上記の専用駐車場を用意致しております。  
ご来院の際は係員の誘導に従って駐車して下さい。  
駐車場は有料となっております、ご了承下さい。

日本医療機能評価機構認定病院  
一般財団法人 恵愛会 聖隸富士病院

〒417-0026 富士市南町3番1号  
TEL (0545) 52-0780 (代) FAX (0545) 52-5837  
<http://www.seirei.or.jp/rel/fuji>

訪問看護ステーション けいあい 居宅介護支援事業所 けいあい 〒417-0026 富士市南町1-32 TEL(0545) 54-2320 FAX(0545) 54-2321  
訪問看護ステーション かみや 居宅介護支援事業所 かみや 〒417-0821 富士市神谷592-3 TEL(0545) 39-0808 FAX(0545) 39-0810

## 聖隸富士病院 院外報

2013年10月1日発行  
発行責任者: 小里俊幸

# 恵愛だより 10月号 No.117

## 心臓血管カテーテル治療室

2013年9月18日より待望の心臓血管カテーテル治療室（梅津拓史室長）が稼動を開始しました。それに先立ち、9月17日にはカテーテル治療室の立上式が行われました。日本基督教団遠州栄光教会の森田恭一郎牧師より聖隸の理念である「隣人愛」の精神を聖書の言葉をもって説いていただくと共に、これから行われるカテーテル検査、治療の安全を祈願していただきました。

現在の診療は、火曜日以外の平日午後に予定された患者様の心臓血管カテーテル検査・治療を行っていますが、体制が整い次第、急を要する患者様にも随時対応できるように致します。

地域の急性期病院としてようやく虚血性心疾患の治療に対応できることが可能となりました。ご利用者の皆様が安心・安全な治療を受けられるよう、職員一同日々研鑽を積みカテーテル治療室を発展、充実させるよう取り組んで参ります。



## インフルエンザワクチンについて

今年もインフルエンザワクチン接種の時季が近づいてきました。例年、インフルエンザ流行期には「インフルエンザワクチンを接種したにもかかわらず、インフルエンザにしっかり罹患してしまった。これではワクチン接種は無駄ではないか!」というお叱りの言葉をよく頂きます。

インフルエンザワクチンは、毎年WHOワクチン推奨株の発表を基に、国立感染症研究所が中心となって検討し、ワクチン株が決められます。インフルエンザワクチンの場合、ウイルスの性質上どうしてもワクチン株と流行株にずれが生じます。そのためワクチンの有効率も、その年によってかなりのばらつきがみられます。よって、インフルエンザワクチンの場合、接種してあっても罹患することは、いわば不可避とも言えます。軽くすめば儲けもので、ワクチン接種の主目的は、重症化の予防だと考えていたいた方が良さそうです。インフルエンザウイルスは、稀に脳炎や脳症を惹き起します。発熱して、翌日もしくは発熱当日に痙攣や意識障害をおこし、その時点で積極的な治療をしてもすでに手遅れのケースも多くみられます。しかし、ワクチン接種は、脳炎や脳症等の重症化予防に最も有効な手段です。

そういう意味では、インフルエンザワクチンは「脳炎に罹らないための1年1回の掛け捨て保険」のイメージに近いかもしれません。

インフルエンザの罹患予防には、日々の手洗いうがいの励行やマスク着用がやはり基本のようです。

文責: 小児科医師 河崎知子



## 各科外来担当医一覧表

2013年10月1日現在

## 《トピックス》

# 心臓血管カテーテル治療室について

平成25年9月18日、当院で新しい心臓血管カテーテル治療室が稼動を始めました。Siemens社製、最新のバイプレーンシネアンギオ装置を使用し、1回の造影で2方向から撮影する事が出来るため、造影剤量の低減、検査・治療時間を短縮する事が可能です。

造影剤の量に関しては、特に慢性腎臓病(CKD)患者さんの造影検査に適しており、造影剤を従来の2分の1程度の使用量で終了する事により、造影剤腎症の発症を高い可能性で予防することが可能と考えます。一旦造影検査が終了すれば、血管内超音波検査(IVUS)を併用する事により、10ml以下の造影剤で心臓カテーテル治療を施行する事が可能です。当院では、慢性腎臓病例に対し血管内超音波ガイドにて冠動脈インターベンションを極小量造影剤で行う前向き観察研究(MINICON Study)に参加予定でございます。

検査・治療時間が長引けば、患者さんの負担も大きくなり、合併症の危険性も増えると私は考えます。本日、心臓カテーテル検査1例、心臓カテーテル治療1例、末梢動脈カテーテル治療1例の計3例の検査・治療を行いました。心臓カテーテル検査は約15分、心臓カテーテル治療は約50分、末梢動脈カテーテル治療は約60分で終了致しました。患者さんの重症度にも左右されますが、通常は、検査で10分から20分、治療で30分から60分で終了する事が出来ます。入院は2泊3日です(例外的に1泊2日とする場合もあります)。

心臓血管カテーテル治療室で、検査・治療の対象となる病気は、狭心症・心筋梗塞等の冠動脈疾患、閉塞性動脈硬化症・腎動脈狭窄症等の末梢動脈疾患です。

狭心症・心筋梗塞の症状は、典型的には胸痛、胸部圧迫感等ですが、左肩や頸に痛みが起きる場合、みぞおちが痛む場合もあります。症状がはっきりしない場合もあ



<文責：心臓血管カテーテル治療室 室長 梅津拓史>